

行田市長 工藤正司

新

年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は行田市政の推進にあたり、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し
上げます。

さて、昨年は我がふるさと行田を舞台とした映画「のぼうの城」が広く全国に公開さ
れ、魅力ある歴史に触れた大勢の皆様は、ここ行田へ足を運んでいただいております。
また、私たちは、郷土に対する誇りと愛着、このまちが持つ無限の可能性を改めて確認
することができました。

行田市は、はるか昔から幾多の歴史を紡ぎ、市内には古代から現代に至るまで、様々
な歴史的な文化遺産が数多く点在する悠久の時間が息づくまちです。

時代の変遷とともに、まちの様相は変化してまいりましたが、坂東武者の心意気を受
け継ぐ、行田ならではの団結力とゆるぎない強い意思はいつの時代も変わることなく、
行田の発展の大きな原動力となって、まちの繁栄を支えてまいりました。

そして、今、新たなまちづくりが始まります。

「ひと・地域・まちの元気の源は健康から」を旗印として、誰もが参加できる健康づ
くり活動プロジェクトを展開し、市民の皆様がいつまでも健康で心豊かに過ごすこと
ができるまちづくりに全力を挙げて取り組んでまいります。

また、映画の効果を活かした交流人口の拡大や優良な企業誘致などによる雇用環境
の創出、安心して子どもを生育育てられる子育て環境の充実など、これからの行田を支
える人口減少対策を力強く実施してまいります。さらに、今後20年先を見据えた都市づ
くりの羅針盤となる「都市計画マスタープラン」を策定し、『暮らしの充実』と『にぎわい
の創出』を両輪に市民一人ひとりが笑顔で暮らせるまちづくりを目指してまいります。

私は、行田の未来は明るいものと確信しています。

先人から受け継いだ誇りと情熱を胸に、そしてこの地域に培われてきた強い絆を礎
に、私たちの手で明日への扉を開いていきたいと思います。

今後とも、「活力みなぎる元気な行田」の実現のため、先頭に立って取り組んでまいり
ますので、更なるご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年が夢と希望にあふれ、市民の皆様にとつて幸多き素晴らしい一年と
なりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

2013



特集

スペシャル対談

狂言師

野村萬齋氏



工藤正司

市長

映画「のぼうの城」の魅力に迫る

映画「のぼうの城」で“のぼう様”こと成田長親役を演じた、狂言師の野村萬齋さんをお迎えし、映画の撮影秘話や長親のリーダー像などについて、工藤市長と大いに語り合いました。

工藤正司市長以下「市長」
ようこそ行田市へお越しくださ
いました。映画「のぼうの城」の
舞台となった行田市を訪れた印
象はいかがですか。

野村萬齋さん以下「萬齋」
行田の中心部には商店街や忍
城御三階櫓があつて、周辺には
のどかな田園地帯が広がってい
ます。豊臣軍の水攻めから約4
00年。水攻めを受けたまちが
復興し、今、市民の皆さんは豊
かに暮らしています。本当に4
00年という歳月がたっている
んだということを肌で実感しま
した。「のぼう様」の故郷である
行田を訪れて、感慨深くなりま
した。

映画の魅力や
撮影秘話を語る

市長 平成22年10月に、京都市
太秦の東映撮影所にお伺いし、
萬齋さんとお会いしました。萬
齋さんの長親役に対する熱意や
情熱を感じ、映画「のぼうの城」
は必ずヒットすると確信しまし
た。私は、この映画で印象に残る
シーンが二つあります。一つは、
石田三成軍の使者に降伏を迫
られ、長親が窮地に追い込まれ
たとき「戦います」と言った

シーンです。理不尽な要求には
絶対に屈しない「坂東武者」の心
意気を強く感じました。まさに、
現代に求められている人物像で
はないかと思えます。

萬齋 「戦います」という決断
をした場面は、映画の見せ場の
一つですね。天下統一を目指す2
万の大軍に500人で戦いを挑
むということはあり得ないで
しょうし、普通に考えれば、あえ
て負け戦をする必要はないとい
う選択になるでしょう。それを
分かっていながら、自分の意地
を押し通す長親にみんなが賛同
するとう、とても気持ちの良
いシーンですよ。



豊臣軍と戦う決意をした長親

市長 もう一つ、豊臣軍から水
攻めを受けている中、長親が小
舟に乗り、2万の軍勢を前に
「田楽踊り」をするシーンが印象
的でした。